

2024年1月26日 令和5年度第2回
都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会

オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防 ストラテジーの確立に資する研究



ひとりひとりが
健やかに生きることのできる社会をめざして

東京大学医科学研究所先端医療研究センター
(附属病院感染免疫内科)

四 柳 宏

本研究班の目標

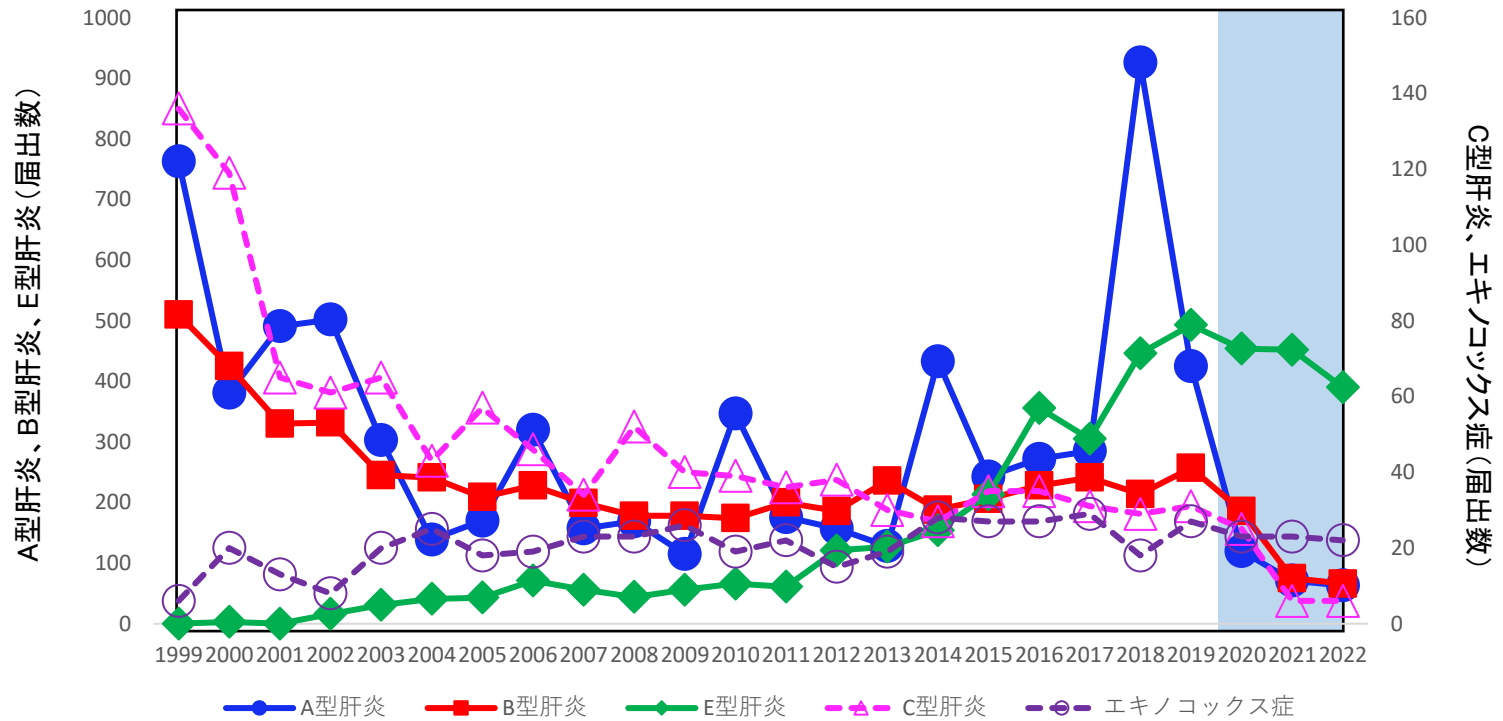
- 一般生活者、保育施設従事者、高齢者施設従事者に肝炎ウイルスの基本、感染経路を知ってもらうための実施する。また、歯科医療従事者を対象としたe-learningを作成する。
- 2016年10月から導入されたHBワクチン定期接種、それに先立って行われた自治体における接種の効果を検証する。
- 医療従事者に対して行われているHBワクチンの効果に関しても併せて検討する。
- 急性肝炎の発生者数の正確な把握に向け、現在の感染症法のデータとビッグデータを用いたデータとの比較検討を踏中心に検討を行う。

4. 急性肝炎の発生状況にする正確な状況把握の検討

- ① 国立感染症研究所で行なっている感染症法上の調査に関する細かな解析を行うと同時に急性肝炎の感染経路に関する適切な情報提供・研究を行う。
- ② ビッグデータを用いた急性肝炎の疫学調査を行い、現在国立感染症研究所で行われている調査との比較を行う。
- ③ CDXを用いた急性肝炎の症例把握のパイロット研究を行う。
- ④ 医療機関におけるウイルス肝炎の検査実態・患者の把握状況に関する調査を行う。



肝炎の届出数



相崎英樹班員

Dataは「感染症発生動向調査 週報(IDWR)」および「病原微生物検出情報(IASR)」より引用。ただし、2022年は第48週までの届出。

研究概要（B型肝炎）

■ B型急性肝炎の発症件数の推移

- B型急性肝炎は、月間20～80件で変動しつつ、減少傾向にあった。



（注）受療ベースの急性発症群：ICD10確定病名＋ABC等検査実績から算定、人口動態（年齢／地域）とDB件数カバー率で補正

（※ B型肝炎治療薬の処方実績でアウト라이어値についても調整）

（注）受療ベースの急性発症群：ICD10確定病名＋ABC等検査実績から算定、人口動態（年齢／地域）とDB件数カバー率で補正
（※ B型肝炎治療薬の処方実績でアウト라이어値についても調整）

・ TheBDは、東京大学医療経済政策学講座が管理する全国ベースの医療系ビッグデータ（本分析は、社保データが中心で、60歳以上も15%）

・ 全国の保険医療機関からの診療請求情報を、約700万件（被保険者ベース）で約7年間の縦断研究用にデータベース化（他に検診等あり）

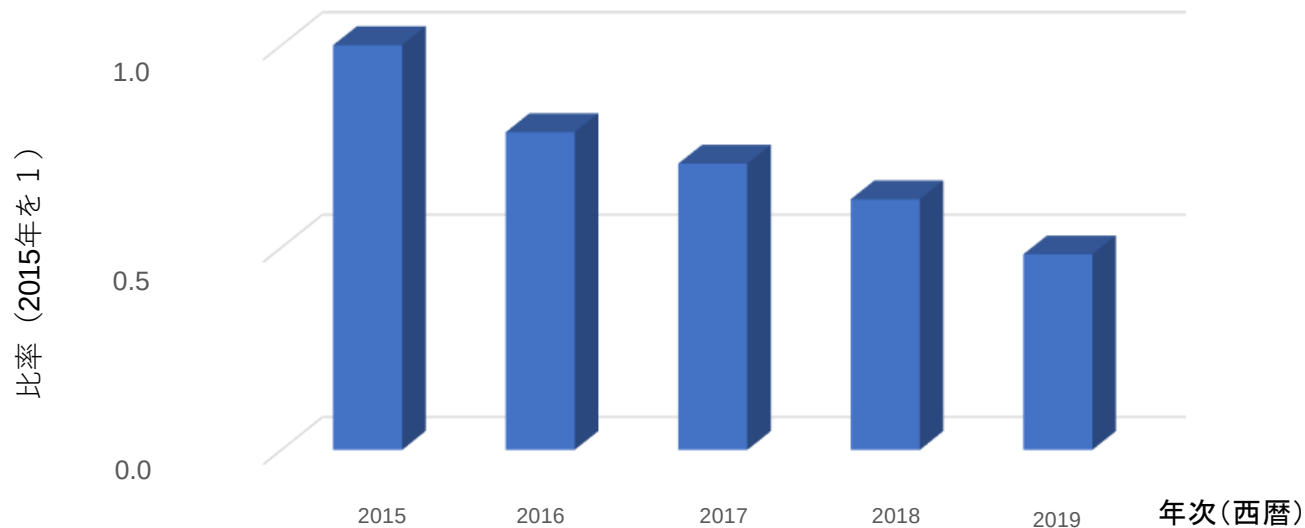
田倉智之班員

研究報告(C型肝炎)

■ C型急性肝炎の発症件数の推移

- C型急性肝炎(罹患)は、全体で緩やかに減少する傾向にあった。

C型急性肝炎の発症数の推移(2015年を1として表示)



ここまでの課題

- 感染症法の届出とビッグデータ解析で一部異なる結果が得られた。
- いずれの解析についても届出率や病名登録、特に急性肝炎の診断の正確さといった問題点が示唆された。
- 年次推移に関するより信頼できる指標を得て、これらの解析と比較することが本邦の肝炎の実態把握、そして肝炎診療の向上に資すると考えられた。

ご依頼するアンケート調査について

- 対象期間：2015年度から2022年度
- 対象疾患：B型およびC型急性肝炎
- 調査項目：診療件数および性別のみ
をお伺いする内容となっております。

東京大学医科学研究所の倫理委員会で承認済みです。

「急性肝炎に関する多施設対象アンケート調査」の実施体制

[実施主体] オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防戦略の確立に資する研究班（研究代表者：四柳宏）

東京大学医科学研究所

[事務局] 東京大学医学部附属病院・感染制御部

アンケート結果の集計・解析

アンケート送付の依頼

肝疾患診療連携拠点病院
72施設

アンケートの依頼

アンケートの回答

アンケート回答医療機関

各拠点病院の所在地における肝炎診療の中核病院
各拠点病院ごとに5施設（拠点病院を含む）を予定

急性肝炎に関するアンケート調査のお願い

厚生労働省肝炎等克服政策研究事業
オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防ストラテジーの確立に資する研究
研究代表者 四柳 宏

1. 調査の目的

当研究班では、急性肝炎の発生状況に関する正確な情報把握を主たる目的の一つと位置付けています。研究班ではレセプト情報などの医療関連ビッグデータを解析し、急性肝炎の発生状況を調査していますが、実際の診療現場からの情報と対比することで、情報精度の向上が期待でき、厚生政策に資する研究成果が得られると考え、本アンケート調査を実施させていただきます。ご協力いただけますと幸いです。

2. 回答方法

調査への協力に同意いただける場合には、以下の QR コードを読み取り、回答画面の指示に従って回答を完了して下さい (<https://forms.gle/qLmyVRZtvYx4FVqaA> をご入力頂いても表示できます)。



回答先は事務局（東京大学医学部附属病院感染制御部）になります。

3. 結果の公表について

本アンケート調査の集計結果は、研究班で解析され、学会および論文発表を行うことが予定されています。また厚生政策を検討する会議などでも報告されます。ご回答後にデータの使用を中止されたい場合は以下の事務局までご連絡下さい。ただし、既に学会や論文などで発表された内容の修正はできません。

なお、本調査の締め切りは令和 6 年 6 月 30 日とさせていただきます。

事務局：奥新和也
〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学医学部附属病院 感染制御部
Tel: 03-3815-5411（内線 35335）

おわりに

本アンケート調査により

- ウイルス性急性肝炎の正確な年次推移
- 都道府県別の特徴

を把握することができると考えております。

最も信頼性の高い診療件数のデータをもとにしてビッグデータや感染症法の届出件数との対比とその問題点の把握を通して急性肝炎診療の向上に資するデータを発出していきたいと考えております。

ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。